

感動新聞

平成23年2月号 発行者 細川栄一

皆様、元気ですか？ ATM(明るく、楽しく、前向き)に頑張らしましょう！これからもよろしく願い申し上げます。ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

友情は3種類

私は友情には3種類あると思っています。

過去を共有する友情。

現在を共有する友情。

そして未来を共有する友情です。

これはツイッターで本田健さんの非公式 bot からの文章です。

なるほど~と思った次第です。

私は未来を共有する友人をいかに持てるか？ そこに興味がありますね。

しかし、過去を捨てる必要はありません。

いえ、過去の関係性と出会いに感謝し、大切にすることが必要だと感じております。

そう言えば、最近は同窓会が流行っているようですね。(年齢のせいかな?)

先月は、高校時代の友人から「東筑高校生物部」同窓会復活第1回目の案内が来ました。

私は東筑高校72期生です。

我が母校は歴史がある高校で、明治政府が福岡県で一番最初に設立したのですから、

創立110年位にはなっております。

なんと、いまから38年前の卒業になります。

何故か？懐かしいですね。

(仕事が入っていますから九州まで参加出来ませんが、時間があれば参加したいですね)

今後、日本でも Facebook が流行すると共に、同窓会ビジネスも巨大産業になるでしょうね。

「本(もと)を忘れず、末(すえ)を乱さず」

これ倫理法人会、万人幸福の礎にあります。

人間は、枝葉のことには気をつけるが、何事につけても本を忘れがちである。

世に「恩を忘れるな」ということがやかましく言われるのは、本を忘れるなという意味である。

これは深い意味があるが、忘れがちですよ。

自分独りで成長したような間違いを起こしがちです。

心理学でいう「自我」と「自己」の違いにも共有することになります。

下記はユニクロの柳井正氏の文章です。参考著書「ユニクロ思考術」柳井正

海外でのビジネスで重要なのは、アイデンティティである。

グローバルな競争で問われるのは「あなたは何か強いのか？」であり、

それに対し「私はここが優れている」とストレートに表現できないとならない。

同時に、オープンマインドであることが大切だ。

自分のアイデンティティを理解してもらうためには、まず相手のアイデンティティを理解し、

その上で「共感」を生み出していかなければならない。

海外で成功するのは「ルーツを持ったボーダレスな人」である。

なぜ、あなたは働くのか？

この悩みは、誰もが乗り越えていかなければならないものだ。

仕事や人生の意味は、仕事を通して発見し、作っていくものだと思う。

仕事は人を成長させ、その人の人生に意味や充実感を与えてくれる。

僕にとって仕事は一番大事なことである。

感動新聞の前月1月号でも、吉田松陰の「本学と末学」で同じ意味のことを言っています。

人間は過去 現在 未来の関係性の中で存在しているのです。

この関係性は時間軸、空間軸、出逢い(人物との縁)軸で成立しています。

だから全ての関係性に感謝するようにしたいですね。

「本を忘れず、末を乱さず」 心に刻みつけよう。